

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	小池 智明（18）	<p>1. コロナ禍で考える富士医療圏の現状と課題、そして今後について</p> <p>正体がいまだよく分からないと言われる新型コロナウイルスの感染が拡大する中、昨年12月に富士市立中央病院でクラスターが発生し、最終的に患者、医療関係者等、計133名に感染が拡大した。</p> <p>12月末には、NHKの全国ニュースでも報道され、その後も正月を挟み10名以上の感染者発生が続くなど、医療体制の維持に対する懸念が高まるとともに、中央病院、そして富士市のイメージダウンも心配である。</p> <p>一方、クラスターが発生したことは残念なことであり、反省しなければならないことも多くあろうが、富士圏域だけでなく、県東部地域の拠点病院として、病院長はじめ、医師、看護師、検査技師、事務スタッフ、様々な物品を納入する業者等、多くの関係者の皆様の献身的な尽力により、1月30日にはクラスターの終息が発表され、現在はほぼ平常どおり運営されていると聞く。</p> <p>そして、感染症指定医療機関として、またその後指定を受けた新型コロナウイルス感染症重点医療機関（以下、「重点医療機関」という。）として、現在も市内だけでなく、市外からも複数の中等症、重症患者を受け入れている。</p> <p>しかし、中央病院がこのような広域的、拠点的な役割を懸命に果たしていることが正確に伝わらず、クラスター発生により、市民の間でも「中央病院＝マイナスのイメージ」が一方向的に定着してしまっているように感じる。</p> <p>私は、いろいろな意味で悔しい思いでいっぱいである。</p> <p>保健・医療政策は、国が決定したものを県が実施し、市町は黙って見ているだけの様な仕組みに、まず大きな疑問を感じるが、これまでの新型コロナウイルスに対する市民の思いを踏まえると、今以上に基礎自治体である市町同士が連携・調整するとともに、国や県に対し声を上げていく必要があると考える。</p> <p>こうした中、以下質問する。</p> <p>(1) 重点医療機関としての中央病院の動きについて</p> <p>① 中央病院は、令和2年8月に県から主として中等症以上の患者を受け入れる重点医療機関に指定されたが、どういう考え方、経緯で重点医療機関の指定を受け、感染患者の受入れをどう行ってきたのか。</p> <p>② 中央病院では、感染患者を受け入れ始める際、さらに重点医療機関の指定を受けてから、患者受入れに関する他市の公立病院との役割分担等の調整は、どの機関（県保健所、あるいは中央病院等）がどう行ってきたのか。</p> <p>③ 中央病院が市内外から受け入れた新型コロナウイルス感染患者の合計人数と症状、治療の推移、また受入患者が居住する市町別内訳人数はどの程度か。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	小池 智明（18）	<p>(2) 民間病院等との連携・調整について</p> <p>① 感染患者の病床を確保するためには、民間病院の理解と受入れが必要との意見があり、先頃、それを促すことを含む感染症法の改正、施行がなされた。中央病院が中心となり、地域完結型医療体制構築を目的に、一昨年8月に民間病院を含む市内9医療機関が参加し設置した富士市病院相互連携会議などでは、病床確保、患者受入れ等をどう調整しているのか、また今後どう取り組むのか。</p> <p>② 感染から回復した患者を受け入れる等のいわゆる後方支援について、富士市医師会や介護施設等とはどう連携・調整しているのか。</p> <p>(3) 周辺自治体との連携・調整について</p> <p>① 新型コロナウイルス感染防止・治療対策に関する富士医療圏のトップ協議（富士保健所長、富士市長、富士宮市長）は行われているのか。</p> <p>② 以前より、医師数をはじめとする医療資源の少なさが顕著な富士医療圏においては、今回のコロナ禍を通じて、改めて富士市立中央病院、富士宮市立病院、共立蒲原総合病院の連携、役割分担の重要性を感じる。これを機に「(仮称)三公立病院あり方研究会」を設置する考えはないか。</p>	市長 及び 担当部長